



～ 内視鏡診療部のご紹介 ～

内視鏡診療部は、消化器内科医師と連携して主に消化器内視鏡診療を行っている部署です。1cm前後の太さの内視鏡を使って、患者様の消化管（食道から大腸）や胆道・膵臓の病気を、早期にみつめて早期に治す診療を心がけています。なお、以下の消化管内視鏡手技は、全国でも施行できる数少ない施設の1つになっています。

1. 超音波内視鏡下穿刺吸引生検（EUS-FNA）：消化管の粘膜下腫瘍（GIST など）の診断法です。福島医大病院は東北で最初に導入した施設であり、1cm程度の小さな粘膜下腫瘍に対しても積極的に行っています。
2. 食道アカラシアに対する内視鏡的筋層切開術（POEM：図 1, 2）：アカラシアとは食道の筋肉の異常のために食事を胃に押し出せない病気であり、そのために食事を摂取できない方がいます。そのような方の食道の異常な筋肉を切開することで、症状を改善します。施行施設は東北では3施設のみです。
3. 食道がんに対する光線力学療法（PDT：図 3, 4）：食道がんに対して放射線治療を行ったものの消えなかった場合、あるいは新たにがんができた場合に、レーザー光を当てることでがんを消す治療法です。施行施設は東北では3施設のみです。

そのほかの消化管内視鏡手技として、以下の治療法にも力を入れています。

4. 内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）：深さが粘膜層（最も内側の層）の食道がん、胃がん、大腸がんを消化管の形をほとんど変えずに切除できる方法です。高度な技術を要しますが、2,000件をこえる実績があります。
5. 水浸下の内視鏡的粘膜切除術（Underwater EMR）：十二指腸や大腸の腫瘍の中で、粘膜層にとどまるがんと腺腫（前がん病変）に対して行っています。消化管内に水をためることで腫瘍が内腔に浮き上がる状態になり、安全に切除をできます。

内視鏡診療部での診療をご希望される患者様は、主治医の先生から患者サポートセンターへ御連絡をいただければ迅速に御対応いたします。また、上部消化管の内視鏡検査に関しては、内視鏡診療部の医師に主治医の先生から直接ご連絡をいただければ、受診当日に内視鏡検査を行うことが可能です。

福島県立医科大学 内視鏡診療部

図 1



図 2



図 3



図 4

